

## 哺乳による虫歯

以前に乳酸菌飲料やスポーツドリンクを哺乳びんに入れて就寝時に与えたことによる重度の虫歯が発生するという問題が現れました。一方で、哺乳びんを用いたことがない幼児にも同様の所見が認められることがあり、これは母乳が原因であることが示唆されています。母乳には、7パーセントほどの乳糖と呼ばれる糖分が含まれています。母乳を寝ながら与えたり、夜間にも与えたりするなどした場合、就寝時や夜間は唾液の分泌量が少なくなるために自浄作用の効率が悪くなり、虫歯の原因菌にとっては好ましい環境状態が維持されることとなります。

(新・う蝕の科学、医歯薬出版、2006)

## 哺乳による虫歯への対策

卒乳(断乳)については、子どもの発達に依じてスキンシップを大切にするため、従来の1才をめどに「断乳」させるという考えから、自然に「卒乳」させるという指導に変わってきています。

虫歯予防の観点からは、乳歯が多く萌出する前に早期に卒乳(断乳)してもらうことが望ましいことです。卒乳以前であっても就寝時および夜間の授乳を止めること、乳酸飲料やスポーツ飲料は適正に摂取すること、およびフッ化物歯面塗布を含むフッ化物の適正な利用を実施することなどが予防対策として勧められます。

八木 稔(新潟大学歯学部口腔生命福祉学科)

虫歯と母乳の関係調べたわが国における研究(山本ほか、小児歯誌2001)によれば、2歳の時点で、母乳を長期間飲んでいたら乳幼児群は、断乳した群と比べて、虫歯になつた子供も平均した虫歯の数も統計的に有意に多かつたことが分かりました。一方で、その生活習慣をみたと、母乳群では「間食の時間が決まっていないう」が統計的に有意に高かつたそうです。このように母乳を与え続けた群では、虫歯の発症に影響を与える他の要因においても好ましくない傾向が見られています。このことは、虫歯の発症には多重の要因が関与しており、母乳を止めることに限らず、原則的な虫歯予防を同時に行う必要があるといえるでしょう。

(厚生労働省 eヘルスネット)



(牛久市歯科医師会よりお知らせ!)

牛久市およびその周辺地域の歯科衛生士の皆さん、牛久市歯科医師会衛生士バンクをご存知ですか?

詳しくは牛久市歯科医師会ホームページをご覧ください。

<http://www.ushiku-dental.com/>

